

今月のコラム

ガーデンを考える会には情報がいっぱい、 そして豊かな暮らしへの憧れ

株式会社 花ごころ 小塚純一

会長を拝命して5年が過ぎました

ガーデンや住・園芸に関連の仕事には数多くのノウハウ情報が必要です。住関連には、生活の豊かさを知らないと住宅が設計できないよう豊かなガーデンライフを楽しむには、植物のこと、土のこと、デザインのこと、建築のこと、天候のこと、それは、自然界全般に及びます。

ガーデンを考える会には、それぞれの第1人者の方が多数参加していらっしゃいます。もし、皆さんがガーデン関係の何かの情報が必要な時は、事務局や関連の理事の皆さんに声をかけて交流会や、ワークショップなどに積極参加いただくことをお勧めします。

そして私も30年以上「緑に関わる」仕事をしていて、感じていることがあります。それは、この業界には親切な方が多いということです。自然に関わる仕事は、自然に鍛えられる。そんな気がしてなりません。

50歳になって、私は薔薇に出会いました。

その薔薇の育種家アルノーデルバルさんの生き方にも憧れています。フランスの中部マリコーンという小さな田舎町に、ラボと本社があります。その食堂では、パイオのチームの方、交配、草取りの担当スタッフまで皆でお昼を楽しみます。アルノーさんも勿論いっしょに気軽に、食事をとる皆さんの笑顔は素敵です。薔薇のネーミングも若いスタッフが知恵を集めて決めます。たとえば、パリの三つ星レストランの名前の付いたグランシェフシリーズ、「絞りの花卉が印象派の絵のようだ」とオルセー美術館の館長からのお言葉で名付けられた、画家の名前のシリーズや、「ナエマ」はゲラン香水、アラビアンナイトに出てくる双子の姉妹の姉の名前です。

昨年、家内をつれて、アルノーさんの農場と、ご自宅の庭を訪問しました。13世紀のお城にお住まいで、見渡す限りの農場と敷地、趣味の乗馬の厩、愛犬のラブラドルが自慢げに昨日の狩りの獲物の野ウサギを啜らせて見せてくるのです。そんな暮らしは憧れです。

そして、フランスの農家には、ガーデンを考える会のここ数年のテーマそのものの「ポタジェ」のある暮らしもありました。そこには菜園などもあり、時には庭に人が集まり、とれたての野菜果物に話題が弾みます。自分なりの楽しさを見つけ余暇を楽しむ、庭は暮らしでデザインされているのです。

そのアルノーさんのお庭には、名前は小説にもある「パルムの僧院」という薔薇の紫がかかった花が初夏の緑と対照的に咲き、夕日の沈むテラスでワインとサラミで歓待していただきました。



バラの育種家アルノーデルバルさんの住まいは13世紀のお城



赤紫色のシャローカップ咲きの大輪でフランスらしいオシャレな「シャルトルーズドゥパルム」



総会記念セミナー、6月8日、東京

「屋上やベランダで楽しむ野菜づくり」「建物の建ち方」

当会通常総会記念セミナーが、6月8日14時より、メルパルク東京（東京都港区）において開催されるが、今回は、東京農業大学・木村正典准教授（都市園芸学専門）による「屋上やベランダで楽しむ野菜づくり」と、建築家みかんぐみ共同主宰・加茂紀和子氏による「建物の建ち方」が17時まで行われる。木村氏は、テーマ内容が社会やビジネスに何をもたらす可能性があるか、加茂氏は、建ち方の重要性について講演。

講演後、情報交換・懇親会もあり、毎年好評。参加費は会員社1名無料、2名以上@5000
問合せ・申込みは事務局（tel052-571-7911 fax052-571-2208）まで。
<http://npogarden.com/houkoku.htm>

ガーデントライアル、9月28～30日 長野・蓼科高原

テーマ展示は『野菜と果樹』 講演は、青フラの伯野智司氏

NPOガーデンを考える会では、秋の商談会「ガーデントライアル IN 蓼科2010」を9月28（火）～30日（木）、長野県・蓼科高原バラクライングリッシュガーデンで初めて開催するが、テーマは『売り場から買い場へ』で、具体的な展示内容は『野菜と果樹』を取り上げる。野菜では「緑のカーテン・ベランダを中心にした野菜作り」と「連作障害克服などの資材提案（商品紹介・使用方法）」を、果樹（苗）では「コンテナ菜園（ベランダ等の省スペースや高層階での作り方）」を、見本鉢などを使い、具体的な形で売り場作り提案する予定だ。今人気の野菜、果樹苗の売り上げアップには欠かせない売り場作り・商品情報が集まる。

また、初日28日には、花き小売業で、展開振りが常に注目されている青山フラワーマーケットを運営する㈱パーク・コーポレーション取締役 C.D.O. 伯野智司氏によるセミナーが行われる。

すでに、業界団体から、秋の研修を企画したいので、概要を欲しい、といった声が事務局に寄せられている。

期間中は「フラワートライアルジャパン2010秋」も同時開催される。昨年はホームセンターや専門店のバイヤー、生産者、流通業者などが、長野・山梨に点在する各会場を数百名単位で訪れて、活発な商談が行われ、出展者はもちろん、業界関係者も欠かせない展示・商談会として位置づけられている。今年もすでに昨年より7割を越える出展申込みがあり、昨年以上の来場者が予想されている。

▽問い合わせ 事務局=TEL 052 (571) 7911



テーマ展示のイメージ

短信

◎第2回屋上開発「関西さがけ賞」作品を募集：NPO 法人屋上開発研究会大阪支部はテーマを「斬新・ユニーク」とし5月15日まで募集。問合せ（tel06-6906-5371）。

詳細はホームページで。 <http://skyfrontosaka.web.fc2.com/pg135.html>

◎平成22年度樹木医研修、受講者募集：日本緑化センターは、「平成22年度樹木医研修」の受講者を5月6日～6月11日、募集する。試験会場は仙台、東京、名古屋、大阪、福岡。

問合せは tel03 - 3585 - 3561。詳細はホームページで。

<http://www.jpgreen.or.jp/treedoctor/treedoctor3.html>



カエデ
kaede

バラと野菜はやっぱりすごい

日本フラワー&ガーデンショウ

バラと野菜。この2大テーマがいまの園芸を大枠で支えているのは間違いなさそうだ。

3月26日(金)～28日(日)、幕張メッセで開催された「日本フラワー&ガーデンショウ2010」には、前回は1万人近く上回る6万5488人が足を運んだ。来場者の心をつかんだのはフォーカスフラワーとなった花の女王バラ。そして20回の節目となる今回は、菜園コーナーでの耕うん機の「体験型イベント」への移行も試みられ、見るだけでなく参加するフラワーショーへの第一歩となった。



3体の金色の木馬をLEDと1000本ものバラが優雅に彩った巨大なローズゴーランド

第17回 岐阜花き流通センター内覧会

売れる花を！ 若手のアイデア光る

岐阜の生産者53名(社)が一堂に会した内覧会。若手の感性が光り、例年にも増して活気のある内容となった。

同内覧会の魅力は商品性の高い花がそろうこと。今回も消費者目線を重視した花づくりを目指すために、組合事業として取り組んでいる商品性の高い花ブランド「花の匠」へのエントリー審査が同時開催された。昨年6月からは関東・東海・関西の主要市場へ毎月生産者の試作品を送り、買参人の意見を聞き、市場、ひいては小売オリジナルの商品化につなげるなど、“売れる花”づくりに積極的だ。



昨年発売の岐阜の花・フランネルフラワー ファンシースノーは背が高く寄せ植えの柱に、切花にと使い幅が広い。夏の仏花にも

会員紹介

株式会社アルパティオ

株式会社アルパティオは、1997年にフランスの肥料メーカー(アルゴシミー社)の日本国内の総代理店として、家庭向けの液体肥料をアルゴフラッシュブランドで輸入販売する会社としてスタートしました。

その後、アルゴシミー社がドイツのコンポ社と合併し、生産がドイツに移管されたため現在はドイツのコンポ社より同一商品を輸入販売しています。

アルゴフラッシュ商品は、ヨーロッパでは高い評価を得ており、日本でもお陰様でお客様より好評を博しております。これらに伴い、数年前より生産者向け肥料の取り扱いも始めました。

生産者は当然の事として、現在使用している肥料からの新しい肥料に切り替えることには大変慎重ですので、こちらの方は、その普及に時間が掛かるものと覚悟し、根気よく取り組んでゆく覚悟です。



お問い合わせ

〒183-0055 東京都府中市府中町2-6-16
TEL : 042-367-9571
FAX : 042-367-9573



コラム

まちなか菜園、3年後100施設を目標に

東邦レオ(株) 事業本部レゾナントチーム 片山隆史

当社はこの度、貸し菜園事業に参入いたしました。『まちなか菜園』と呼ぶこの事業は家庭菜園をはじめたいと思う人が「気軽に安心して続けられる」ことをコンセプトに都心の遊休地や耕作放棄地、利用されていないビルの屋上を活用し、貸し菜園区画と付帯設備を造成し、菜園区画の貸し出しやイベントの運営を行います。都心における貸し菜園利用を望む待機ユーザーは現状の利用者数の3～4倍とされています。また現状の施設は単に区画貸しが多く利用者の望むサービスが行き届いていません。そもそも郊外に位置するため利用者にとっては遠すぎることから利用が難しいという状況にあります。

埼玉県戸田市に造営中の「ソラドファーム戸田」は5月1日のオープン前に全45区画以上の応募をいただきました。区画面積は8㎡、中央に位置するシンボルツリー周辺は水道設備やベンチを配し、道具は共用物置で保管し自由に使用いただけます。初心者にも安心して野菜づくりを楽しんでいただけるように、専属のスタッフが週末中心に栽培指導や散水のお手伝いをします。収穫祭や子供向けのイベント開催も一年を通じて定期的に開催し、利用者同士のコミュニケーションの機会を設け栽培以外の楽しさも提供していきます。

当社は20年前から屋上緑化事業を展開しており、過去に戸建住宅、集合住宅、学校施設、商業施設等に屋上菜園を整備してきました。数年前からは貸し菜園の運営に携わる機会があり、施設利用者の要望等を考察してきました。その中で、利用者（または待機者）は私たちがコンセプトとする「気軽に安心して続けられる」施設サービスを要望していることを強く感じています。三年後には100施設の運営を目標にしており、皆様にも助言とご指導をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



第1号のJR恵比寿駅ビル屋上菜園「ソラドファーム」。
契約継続希望98%を達成



事務局だより

ガーデンを考える会
事務局 TEL052-571-7911
FAX052-571-2208

家庭菜園は、10年余り前に小玉のスイカを1つ収穫し、同じ場所にスイカ苗を植えて見事失敗。以後、野菜から遠ざかっていましたが、今春もらった二十日大根の種をうえて、これは収穫。遅まきながらポタジェライフを目指します。